



がん相談支援センターだより



ピンクリボンIN東京・板橋区2018でがん相談を行いました



11月18日(日曜日)に板橋区立文化会館で行われた『ピンクリボンin東京・板橋区2018』に当センターからも相談員が参加しました。このイベントは、乳がんについての知識の普及や早期発見・早期治療のため検診の大切さを伝えることを目的に、東京都と板橋区の共催で開催されました。板橋区では初めての開催でしたが、板橋区のみならず、近隣区民の方や他県の方も参加されるほど多くの方が来場されていました。がん相談支援センターは紹介と合わせて、個別相談ができるコーナーを設置していただきました。相談者の中にはがん相談支援センターをご存知ない方、他院では相談できないと思われていた方もおられ、誰でも無料でがんに関する相談ができることと知って驚かれていました。乳がんは、早期発見・早期治療により、90%以上の方が治ると言われています。早期発見のためにも定期的な検診と、日頃の自己チェックが大事になります。乳がん検診はお住まいの区市町村、職場の検診、人間ドックで受けられますので是非検診を受けましょう。

東京都乳がん検診普及啓発事業公式キャラクター
PostPet「モモ妹」



ワーキングサポートを開催しました

昨年12月にがん患者さんの就労支援プログラム「ワーキングサポート」を開催いたしました。この「ワーキングサポート」は、がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター事業に位置付けられており、両立支援コーディネーターでもある看護師とソーシャルワーカー、社会保険労務士なども加わって、仕事と治療を両立するために必要な情報提供や、参加された方同士で体験を共有することで、患者さん本人が仕事と治療を両立するための方法を考えていくことを目的としたプログラムです。

毎年3月、6月、9月、12月の4回行い、それぞれの回は3セッションで構成されています。治療中であっても、通院や体調不良時、あるいは仕事内容などに対する配慮があれば仕事を続けることが可能で、仕事と治療を両立するには、会社の理解も大きなウェイトを占めています。

今回の出席者は3名で、皆さん治療しながら仕事を続けられており、それぞれの体験を伺うと、会社の配慮があることがわかりました。現在のがん治療は、通院治療が中心になってきていますが、一般的には、まだ入院が中心で、がんになると仕事は続けられないと誤解されています。治療中の生活を支える収入を確保するためには、仕事を継続する必要がありますことから、休職中であっても会社と頻りに連絡を取り、今自分がどのような状況なのかを理解してもらう必要があります。

このような内容をディスカッションすることにより、会社への対応や、治療中に注意しておくことなどの整理ができ、安心して治療継続ができることを目指しています。

2019年3月ワーキングサポート(仕事に関する相談・勉強の会)の日程

1回目:3月5日(火)、2回目:同12日(火)、3回目:同19日(火)【時間】18:00~19:00

【参加費】無料。 他院におかかりの方もご参加いただけます。

お申し込みは当センターまで。詳細はパンフレット、当院HPをご参照ください。